

福祉の心を育てる教育の実践

米子市立東山中学校

1. 本校の教育目標

○校訓

・「自主 自立」 ・「友愛 協同」 ・「明朗 努力」

○学校教育目標

・自ら学び、心豊かでたくましい生徒の育成

○目指す生徒像

- ・自分を見つめ、自立し行動する生徒
- ・思いやりを持ち、自らを高め人の役に立つ生徒
- ・未知なものに関心を持ち、主体的に学び合い、伸びようとする生徒

2. 福祉教育の目標

- ・学校での美化活動やボランティア活動、交流学习など発達段階に応じた具体的な実践活動を通して、協力や奉仕の態度、実践力の育成に努める。
- ・社会福祉に対する関心と理解を含め、心優しく思いやりを持った生徒の育成に努める。
- ・人間尊重の精神を基盤として、人を大切にし、ともに生きる福祉の心の育成に努める。

3. 実践報告

福祉教育活動の内容

活動名称	実施期間	活動内容
栽培活動	年間	・環境委員を中心に生徒が季節の花を玄関前のプランターや花壇に植える栽培活動を行った。 ・支援学級の生徒を中心に野菜の栽培活動を行った。
募金活動	年間	・環境委員会で緑の募金、赤い羽根の募金活動を行った。
あいさつ運動	年間	・生徒会執行部や中央委員会が小学校で小学生や地域の人と一緒に朝、玄関前であいさつ運動を行った。
環境美化活動	5月	・親子除草作業を行った。
総合的な学習の時間	1～2学期	・3年生は米子市環境政策課、クリーン推進課、地域振興課、健康対策課、フレイル対策推進課、障がい者支援課と、2年生は地元企業と、1年生は米子市観光課、文化振興課、都市創造課、総合政策課と連携し課題を探究。3年生は「ミラ・クル・とっとり運動・SDGs 活動」で最優秀賞と優秀賞を受賞。文化祭や3学年縦割りの発表の場を設け相互に学んだ。

車尾保育園の園児との交流	11月	・家庭科の授業で3年生は手作りおもちゃで一緒に遊んだり、合唱をお互いに披露したりして交流を行った。
	12月	・園児との合同避難訓練を行った。
はるかのはまわり絆プロジェクト	年間	・全国で展開されている「はるかのはまわり絆プロジェクト」に学校で参加し、取り組みを行っている。



4. おわりに

今年度より、はるかのはまわり絆プロジェクトの規模は縮小化されたが「自分たちの手でやってみる」をテーマに生徒たちの手によって育てられたはまわりが大きな花を咲かせた。生徒会執行部の小学校へ出向いてのあいさつ運動や、車尾保育園と合同避難訓練の交流、校内での清掃活動などは例年通り行うことができた。

また、本年度も総合的な学習で米子市役所各課、地元企業と連携し、全学年が探究学習に取り組んだ。様々な形で地域の方々とふれあうことができた。

今後とも福祉の心を育て、地域と繋がりを持ち、貢献できる生徒の育成に努めたい。